

令和5年度

川崎市立川崎高等学校附属中学校入学者決定検査

適性検査Ⅰ（45分）

—— 注 意 ——

- 1 「はじめ」の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。
- 2 問題は全部で2つあります。こちらから開くと**問題1**（全6ページ）になります。**問題2**（全7ページ）は反対面から始まります。
- 3 問題をよく読んで、答えはすべて解答用紙の決められたらんに、わかりやすくていねいな文字で書きましょう。解答らんの外に書かれていることは採点しません。
- 4 解答用紙は全部で**3枚**あります。
- 5 計算やメモが必要なときは、解答用紙には書かずに、この問題用紙の余白を利用しましょう。
- 6 字数の指定のある問題は、指定された条件を守り、**問題1**はたて書きで、**問題2**は横書きで書きましょう。最初のマスから書き始め、文字や数字は一マスに一字ずつ書き、句読点「。、」やかっこなども一字に数え、一マスに一字ずつ書きます。ただし、**問題1**の(7)は、その問題の「注意事項」の指示にしたがいましょう。
- 7 「やめ」の合図があったら、途中とちゅうでも書くのをやめ、筆記用具を机の上に置きましょう。

問題1 次のあ、い、うの文章を読んで、あとの(1)～(7)の各問いに答えましょう。

あ

今日は節分である。節分の恒例行事として最も有名なのは「大豆をまいて鬼を退治する」だろう。庭に「鬼は外」「福は内」と言って大豆をまいたり、鬼のお面をかぶった家族などの身近な人に大豆を当てたりした経験がある人は多いのではないだろうか。この中学校の受検生も、家に帰った後久しぶりに家族との団らんを楽しみながら、豆まきをするかもしれない。では、なぜ大豆をまくのか。身近な行事であるにもかかわらず、わからないことは多い。

そもそも、節分は二月三日と決められているように感じるが、元々は新しい季節が始まる前日のことを示し、二月二日の年もあれば、二月四日の年もある。しかも、春夏秋冬、全ての季節が始まる前日が節分である。つまり、本来は年に四回あるのだ。また、季節が変わる時に起こる数多くの悪いことを、目に見える形にしたものが鬼である。多くの悪いことを防ぐために豆まきが行われた。その中でも「立春」の前日である二月三日は、一年の始まりとして特に大切な日とされた。その風習が、今も残っているのである。

では、なぜ大豆をまくのか。それは、多くの穀物の中でも大豆に精霊

が宿るとされていたからである。さらに「豆」は、悪い者(魔)を滅する「魔滅(マメ)」という意味が、また、煎った豆には「魔の目を射る」という意味が込められた。だから、穀物の精霊が宿っている煎った大豆を投げることは、悪い者を追い払うための最もよい方法だと考えられたのだ。

「豆」を「魔滅(マメ)」ととらえたり、煎った大豆を「魔の目を射る」ととらえたりすることは、単なる語呂合わせではないかと思うかもしれないが、日本人はこのような語呂合わせを好み、大切にしてきた。身近な行事でも、由来を調べてみるとその奥深さがとても興味深い。幼い子が行う行事ではなく、日本の伝統行事として、いろいろな知識を蓄えてから豆まきをする、ただ「鬼退治」をしていた時とは違う感情が芽生えてくるように思う。

い

二月三日は「大豆の日」です。大豆が味噌、しょうゆ、納豆など様々なものに形を変えて食卓に並んでいることは、国語の授業で学習しました。最近は大豆の豊富な栄養が改めて評価され、ますます私たちの生活になくてはならない存在となっています。多くの人が「大豆の日なんて知らないな。節分は知っているけれど。」と思うかもしれませんが、節分にも深く関わる大豆に目を向けてみましょう。

日本人が消費する大豆のほとんどを輸入に頼っていることは社会科の授業でも学習しました。農林水産省によると、平成二十九年の大豆の食料自給率はわずか七％です。大豆は食品用と油の原料となる油糧用ゆりょうに分けられ、食品用に限ると自給率は二十五％となります。

世界に目を向けてみると、大豆の生産量一位はアメリカ、二位はブラジル、三位はアルゼンチンとなっており、この三カ国で全生産量の八十％を占めています。消費量は中国、アメリカ、アルゼンチンと続き、日本は十位です。

一方で、日本のように食べるために大豆を使用している国はごくわずかであり、世界では大豆のほとんどが油の原料として使用されています。世界一の大豆生産国であるアメリカに住む人が一人あたり年間どれくらい大豆を食べるかという点、四十グラムです。日本はというと、なんと年間八キログラム以上です。消費量一位の中国が約四キログラムなので、日本がどれだけ大豆を食べているかがわかります。また、日本人一人あたり大豆消費カロリーは平均九十六キログラムとなり、他の国と比べて、最も高い数値となっています。

日本は、大豆の生産量や自給率は他国と比べてはるかに低いですが、大豆を食べる量はとても多いです。このように考えると、大豆を食べるのは日本独特の文化だと言えます。肉を食べる文化があまり無かった日本にとって、大豆はたんぱく質をとるために必要な食材だったことは確

かです。大豆を、味噌、しょうゆ、納豆、豆腐とうふ、きなこなど、様々な形に加工をして、日本の家庭料理に無くてはならないものにした先人たちの知恵ちえには本当に驚かされます。

先人たちの知恵のおかげで生まれた大豆の加工食品が、今日も食卓に並ぶでしょう。小学校で習ったことだけでも、少し調べたら話題はこのように広がります。興味をもつきっかけは、あちこちにたくさんかかれています。今回は大豆の知識から話を広げましたが、小学五年生の今だからこそ、たくさんの方に興味をもって、たくさんの方を学んでほしいです。

⑤

この間、自分の子どもと一緒にいっしょ「桃太郎」の絵本を読んだ。桃から生まれた桃太郎が、「サル」「キジ」「イヌ」のおともを連れて鬼退治に行く、あの桃太郎だ。鬼の姿は、モジャモジャ頭に角をはやし、顔色は赤や青で、こんぼうを持ち、黄色と黒のしましまパンツをはいた姿だった。絵本を閉じた時、子どもが聞いてきた。「鬼って、なんであんな姿なの。」たしかに、そもそも鬼という生き物は実際に存在しないのに、なぜあのような姿を私たちはイメージするのだろうか。疑問である。偶然ぐうぜんにも、今日は二月三日、節分である。子育て中の保護者のみなさん、鬼の正体を一緒に勉強しようではないか。

先ほども述べたように、鬼は実際には存在しない。そして、「鬼」という存在は日本独自のものであるようだ。かつて、天変地異や病気の流行など、私たちの力ではどうしようもできない、安全や命をおびやかすものの原因は、「鬼が悪さをしているから」と言われていた。そしてその「目に見えない、私たちの力ではかなわない悪い者」は、「鬼門」と呼ばれる方角から入ってくると言われていた。この「鬼門」の方角は北東である。

ここまで読んで、鬼の見た目とは結びつかないだろう。【図】を見てほしい。現在、方角は「東西南北」で表されているが、昔は、時刻や方角など、あらゆるものが干支えとで表されていた。【図】を見ると、北東の方角は、ウシとトラの方角だと示されている。

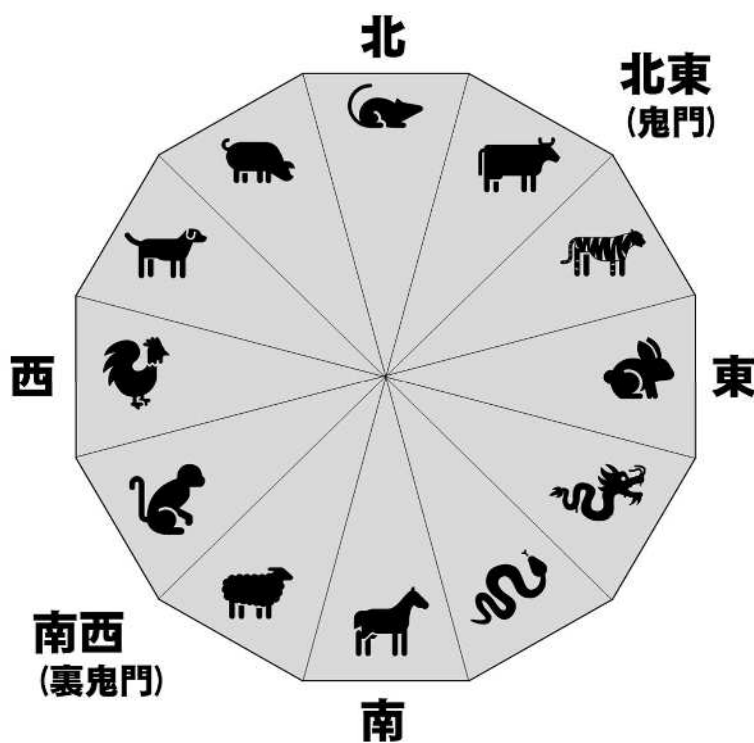
ここでピンとくる人もいるかもしれない。黄色と黒のしましまのパンツはトラのもようであり、頭から生えている角はウシのものだと考えたら、「鬼」の見た目と方角を示す動物が一致している。つまり、鬼は、人間の力で簡単に対処できない自然の恐怖きょうふを知らせるために、人間が作りだした想像上のものなのだ。「鬼門」の方角を示す動物に目をつけ、今の鬼の姿を作りだした人に会ってみたいものである。

さて、桃太郎に話をもどす。同じく【図】を見てみると、鬼門の方角、つまりウシとトラの方角とほぼ反対の位置に、サル、トリ（キジ）、イヌが並んでいる。これは単なる偶然なのだろうか。もう少し調べてみる必要がありそうだ。

今日、私は、我が子のために鬼のお面を買って帰る。私と同じく、鬼役になる保護者も多くいるだろう。もしよければ、家の中で北東はどこかを探してみてください。そして、北東の部屋から鬼として登場してみてください。「なんでお父さん、お母さんはあの部屋から鬼のお面をかぶって登場するのだろう」と我が子が興味をもって聞いてきたら、そこから少し会話が広がるはずだ。

【図】

【いずれも適性検査のために作成した文章】



(1) 文章 あ、い、うは、それぞれだれに向けて書いた文章ですか。本文からそれぞれ五字以上十字以内でぬき出して書きましよう。

(2) 文章 あ、い、うは、すべて節分をきっかけにして話題を広げていますが、文章の話題はすべて異なります。それぞれのどのような話題を中心に書かれた文章ですか。次の1から8の中から正しいものを一つ選び、番号で答えましよう。

- | | | | |
|----|--------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. | <input type="checkbox"/> あ 語呂合わせの面白さ | <input type="checkbox"/> い 大豆と節分 | <input type="checkbox"/> う 桃太郎の絵本 |
| 2. | <input type="checkbox"/> あ 語呂合わせの面白さ | <input type="checkbox"/> い 大豆と節分 | <input type="checkbox"/> う 鬼の正体 |
| 3. | <input type="checkbox"/> あ 語呂合わせの面白さ | <input type="checkbox"/> い 大豆の消費 | <input type="checkbox"/> う 桃太郎の絵本 |
| 4. | <input type="checkbox"/> あ 語呂合わせの面白さ | <input type="checkbox"/> い 大豆の消費 | <input type="checkbox"/> う 鬼の正体 |
| 5. | <input type="checkbox"/> あ 豆まきの意味 | <input type="checkbox"/> い 大豆の消費 | <input type="checkbox"/> う 桃太郎の絵本 |
| 6. | <input type="checkbox"/> あ 豆まきの意味 | <input type="checkbox"/> い 大豆の消費 | <input type="checkbox"/> う 鬼の正体 |
| 7. | <input type="checkbox"/> あ 豆まきの意味 | <input type="checkbox"/> い 大豆と節分 | <input type="checkbox"/> う 桃太郎の絵本 |
| 8. | <input type="checkbox"/> あ 豆まきの意味 | <input type="checkbox"/> い 大豆と節分 | <input type="checkbox"/> う 鬼の正体 |

(3) 文章 あ——線①について、同じく語呂合わせの例としてふさわしいものを次の1から4の中からすべて選び、番号で答えましよう。

1. 「だるまさんがころんだ」でよく知られるだるまは、何度転んでも起き上がる、福を呼ぶ存在である。
2. お祝い事の時に魚のタイを食べることが多いのは、「めでたい」の「たい」とかけているからである。
3. 大切な試合の前に「トンカツ」を食べるのは、「試合に勝つ」という意味をもっているためである。
4. 魚の「ブリ」は、成長にともなうて名前が変わることから「出世魚」と呼ばれ、出世を願って食べられることもある。

(4) 文章 に合う内容として正しいものを次の1から4の中から一つ選び、番号で答えましょう。

1. 日本で食品用として扱われている大豆のほとんどは、日本で作られ、日本で消費されている。
2. 世界と比べてみると、大豆の消費量は日本が最も多く、これが大豆の加工食品が多い理由である。
3. 日本の一人一日あたりの大豆消費カロリーは平均九十六キロカロリーで、これは大豆消費量一位の国より多い。
4. 日本が大豆を食品用として利用するのは、日本の大豆生産量全体の八割である。

(5) 文章 —— 線②「人間が作りだした想像上のもの」について、人間はどのようなことを鬼という形にしたのですか。 あ、 うそれぞれれの文章から十九字で探し、最初の五字をぬき出して書きましょう。

(6) たろうさんは、節分について文章 あ、 い、 うの内容とは異なる話題で次の作文を書きました。この作文に関しての問いに答えましょう。

今日、私の家では豆まきが行われます。幼い弟や妹もとても楽しみにしています。そして、私にはもう一つ楽しみがあります。それは、川崎大師の豆まきに参加することです。

みなさんの家では、豆をまくときに何と言いますか。「鬼は外、福は内」ではないでしょうか。私の家でもそうです。しかし、川崎大師の豆まきでは、「川崎大師の中には、鬼はいない」という考え方から、

A 「としか言わないそうです。

豆まきのかげ声についても少し調べてみると、奈良県吉野町の、よしのちやうあるお寺では、全国から追い払われた鬼をむかえ入れて、その行いを改めさせるために「鬼も B」と言うそうです。

当たり前のように使っていたかけ声が、当たり前でないことを知り、異なるからこそそのよさもわかりました。今晚、どんな気持ちを込めて何と言いながら豆をまこうか、考えてみてはいかがでしょうか。

(6)-1 作文の空らん 、 に当てはまる言葉を、 は三字

で、 は一字で、たろうさんの作文の中からぬき出して書きましよう。

(6)-2 たろうさんがこの作文で最も伝えたいことは何ですか。「当たり前」と「よき」という言葉を使い、解答用紙の言葉に合うように、二十

字以上三十字以内で書きましよう。

(7) あなたは、文章 、、 のどの文章に興味をもちましたか。ど

れか一つを選び、初めて知ったことや特に強く興味をもったこと、そして、なぜそのことに興味をもったかについて書きましよう。また、その文章を読んでさらに知りたくなったことを書きましよう。作文を書く時は、後ろの「注意事項」に合うように考えや意見を書いてください。

「注意事項」

○ **解答用紙2** に三百字以上四百字以内で書きましよう。

○ 原稿用紙の正しい用法で書きましよう。また漢字を適切に使いましよう。

○ はじめに題名などは書かず、一行目、一マス下げたところから書きましよう。自分の名前は、氏名らんに書きましよう。

○ 三段落以上の構成で書きましよう。

○ 句読点「、」やかっこなども一字に数え、一マスに一字ずつ書きましよう。また、段落を変えたときの残りのマス目も字数として数えます。

問題2 たろうさんとはなこさん、けいこ先生が教室で話をしています。次の会話文を読んで、あとの(1)～(7)の各問いに答えましょう。

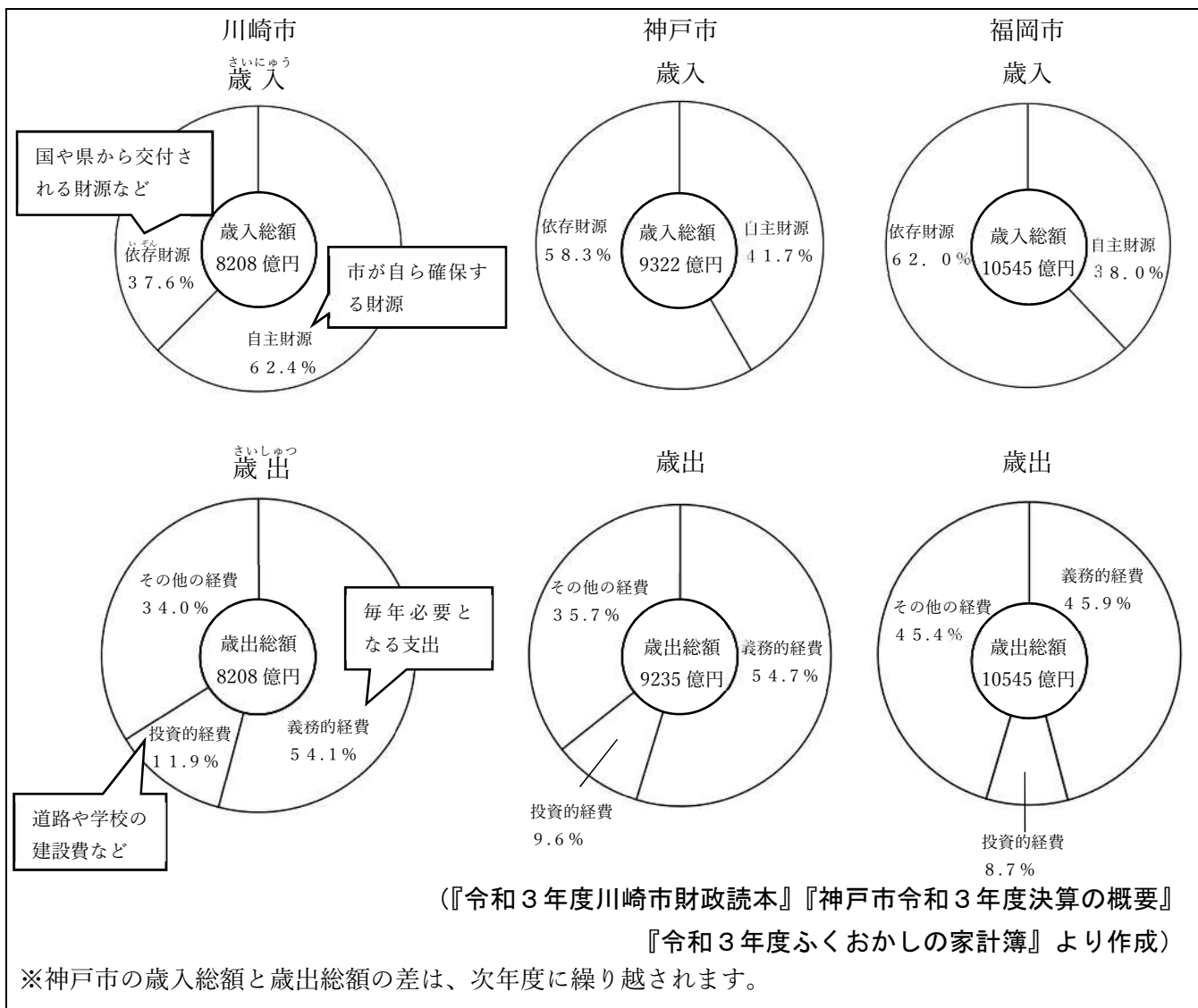
けいこ先生：今日の社会科の授業では川崎市の財政について学んでいきましょう。

はなこさん：私たち市民は、普段いろいろな場面で、税金を納めたり、税金によって生活が豊かになったりしていますね。川崎市の財政にはどんな特色があるのでしょうか。

たろうさん：川崎市と同じくらいの人口の市と比べてみると何かわかるかもしれませんね。

けいこ先生：そうですね。ここに川崎市と人口に近い神戸市と福岡市の資料があるので、比べてみましょう。〔資料1〕を見てください。

〔資料1〕 令和3年度における川崎市・神戸市・福岡市の歳入と歳出



はなこさん：このグラフを見ると川崎市の財政の特色がわかりますね。

(1) 〔資料1〕をもとに川崎市の財政についての説明として適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えましょう。

- ア 川崎市は、3市の中で、自主財源の金額が最も高く、義務的経費の金額は最も低い。
- イ 川崎市は、3市の中で、自主財源の金額が最も高く、義務的経費の金額も最も高い。
- ウ 川崎市は、3市の中で、自主財源の金額が最も低く、義務的経費の金額は最も高い。
- エ 川崎市は、3市の中で、自主財源の金額が最も低く、義務的経費の金額も最も低い。

はなこさん：それぞれの市は、歳入を増やすためにどんな努力をしているのでしょうか。

たろうさん：観光客を呼び込むことに力を入れているというニュースを見たことがあります。

はなこさん：どうして観光客が増えると市の歳入が増えるのですか。

たろうさん：その施設の入園料が入るからではないですか。

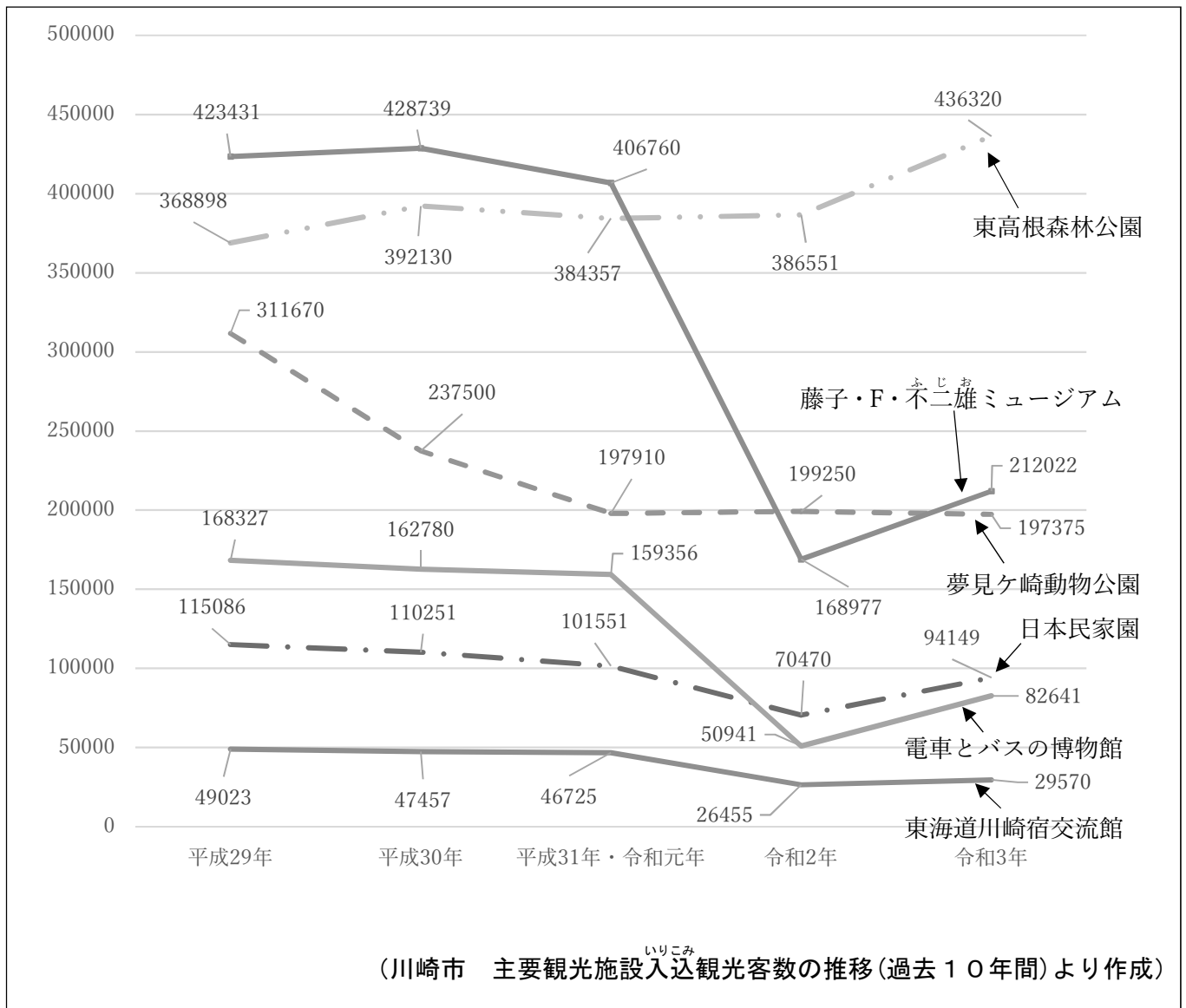
けいこ先生：そうですね。その他にも観光客が市バスなどの公共交通機関を使ったり、お店で買い物をしたりすることで間接的に歳入が増えるそうです。

はなこさん：そうなのですね。では川崎市内の観光施設を訪れる人は増えているのでしょうか。

けいこ先生：調べてみましょう。〔資料2〕は川崎市内の6か所の観光客の推移を表したグラフです。

はなこさん：①このグラフからいろいろなことがわかりますね。

〔資料2〕 川崎市内の観光施設への年間観光客数の推移（単位：人）



たろうさん：そうですね。ところで②その他にも歳入を増やす方法はあるのでしょうか。

(2) 下線部①について、[資料2]で示された6か所の観光施設における観光客の推移についての説明として適切なものを、次のア～オの中からすべて選び、記号で答えましょう。

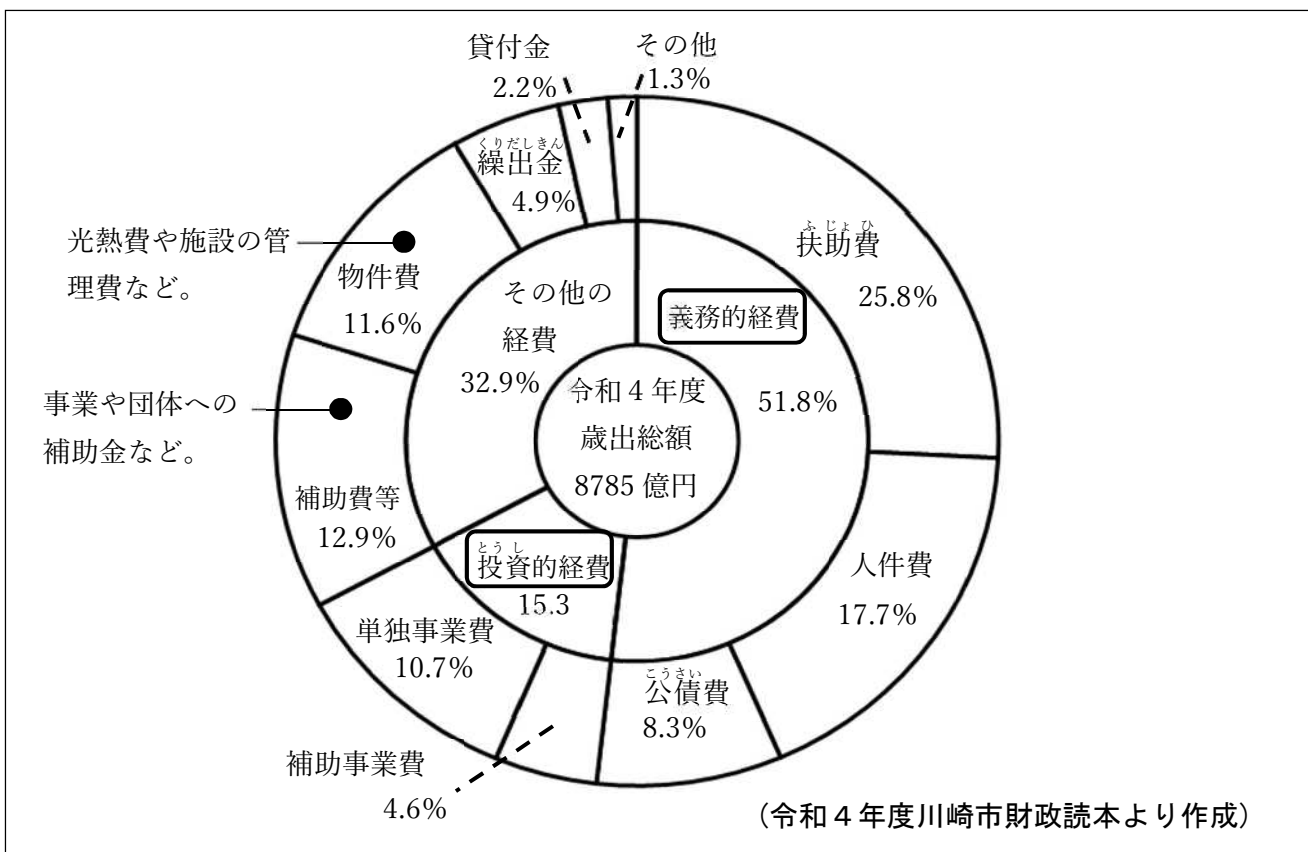
- ア 平成31年・令和元年から令和2年にかけて、すべての観光施設で観光客数が減少している。
- イ 平成31年・令和元年から令和2年にかけて、観光客数が最も大きく減少した観光施設は、藤子・F・不二雄ミュージアムである。
- ウ 平成29年から平成31年・令和元年にかけて、観光客数が最も大きく減少した観光施設は、夢見ヶ崎動物公園である。
- エ 平成29年と令和3年を比較したときに、観光客数が増加している観光施設がある。
- オ 平成29年から令和3年にかけて、夢見ヶ崎動物公園の観光客数は減少し続けている。

(3) 下線部②について、市の歳入が増えることに直接つながらないものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えましょう。

- ア 市民が出すゴミの量を減らす。
- イ 市内に企業(会社)を招き、企業数を増やす。
- ウ 国や県からの補助金が増える。
- エ 市内に住む労働者が増える。

たろうさん：ここまで歳入について考えてきたけれど、川崎市の歳出はどうなっているのでしょうか。
 けいこ先生：[資料3]のグラフを見てください。令和4年度川崎市がどんなことにお金を使おうとしているのかが分かります。

[資料3] 令和4年度川崎市の歳出



はなこさん：いろいろな使い道があることがわかるけれど、どんなことにどれくらい使っているのか、ちょっとイメージがわきにくいですね。

けいこ先生：川崎市が出している財政読本では、市の歳出を家庭の家計簿に置き換えて紹介しています。単純に比較はできない部分もありますが、下の〔資料4〕を見てください。

〔資料4〕 令和4年度川崎市の歳出を家計簿(収入月額と支出月額)に置き換えた表

【収入月額】		【支出月額】	
お父さんとお母さんの給料	416700 円	食費	121800 円
役所からの助成金・奨学金	197400 円	光熱費・被服費	79800 円
各種ローンの借入金(借金)	72800 円	車の購入・自宅の増改築・修繕費	110900 円
収入計	686900 円	ローンの返済	56700 円
		子どもへの仕送り・おこづかい	140400 円
		医療費など	177300 円
		支出計	686900 円

* 年収が 500 万円として算出

(令和4年度川崎市財政読本より作成)

たろうさん：「食費」や「光熱費」「医療費」など、なじみのある言葉がありますね。家計簿のようになっているので、これならイメージがわいてきます。

はなこさん：この家計簿は〔資料3〕の市の歳出をどういうルールで置き換えたものなのですか。

けいこ先生：いい質問ですね。このように置き換えています。

- 家計簿の「食費」は、歳出の「人件費」にあたる。
- 家計簿の「光熱費・被服費」は、歳出の「物件費」にあたる。
- 家計簿の「車の購入・自宅の増改築・修繕費」は、歳出の「単独事業費」にあたる。
- 家計簿の「ローンの返済」は、歳出の「公債費」にあたる。
- 家計簿の「子どもへの仕送り・おこづかい」は、歳出の「補助費」にあたる。
- 家計簿の「医療費など」は、歳出の「扶助費」にあたる。

たろうさん：なるほど、こういうルールで置き換えたのですね。

はなこさん：そうするとこの家計簿の支出月額の中で、義務的経費にあたる部分の合計金額は、

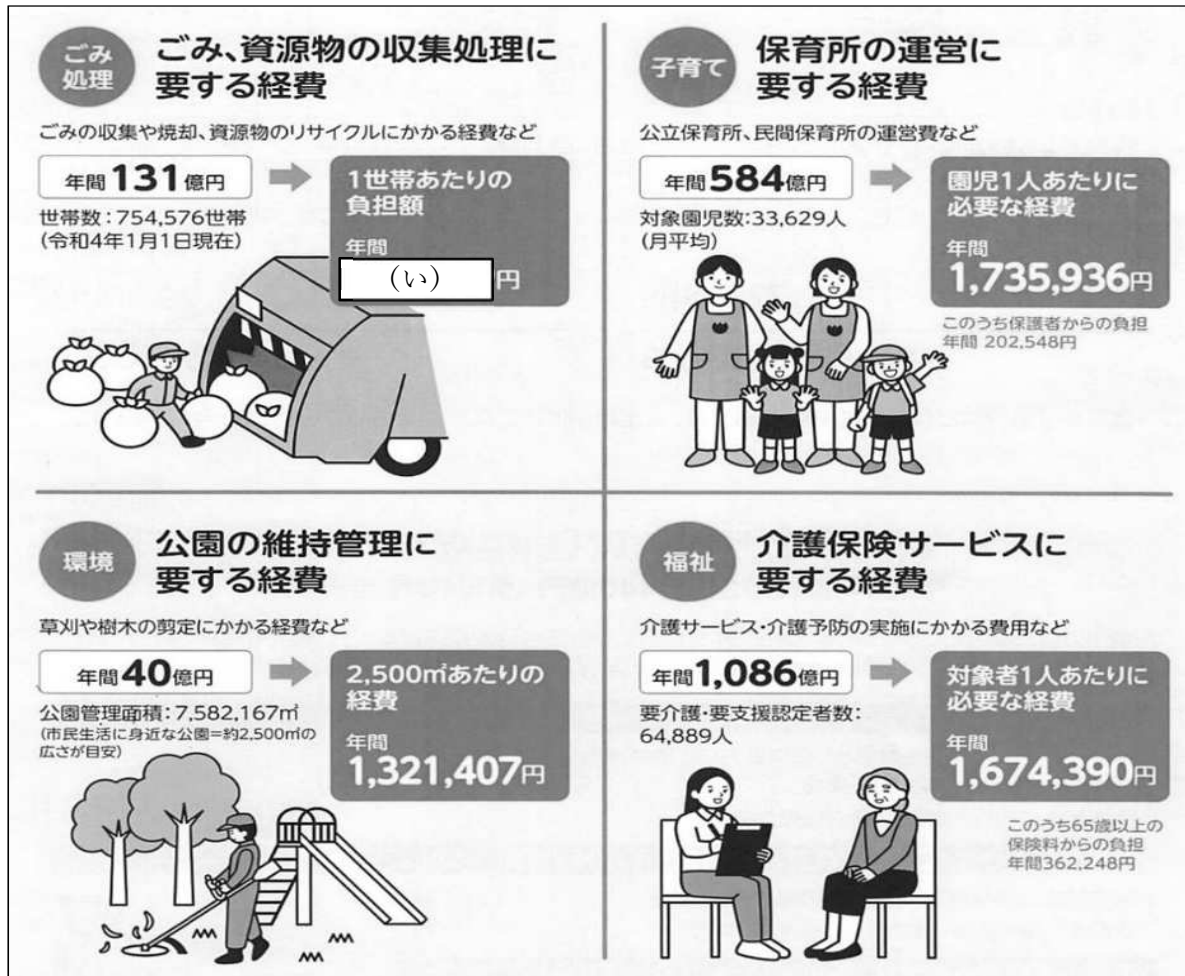
〔あ〕円になりますね。

(4) 〔あ〕にあてはまる数を書きましょう。

たろうさん：家計簿で川崎市の歳出についてのイメージはできたけれど、私たちの身近なところでは、実際にはどんなことにどれぐらいの予算が使われているのでしょうか。

けいこ先生：市役所で配布している〔資料5〕を見てください。

〔資料5〕 市民生活に身近な市の仕事



(令和4年度川崎市財政読本より引用)

はなこさん：なるほど、ここまでで市の歳出の現状について、よく分かりました。

(5) 〔資料5〕の (い) にあてはまる数字として最も近いものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えましょう。

ア 13300 円

イ 15300 円

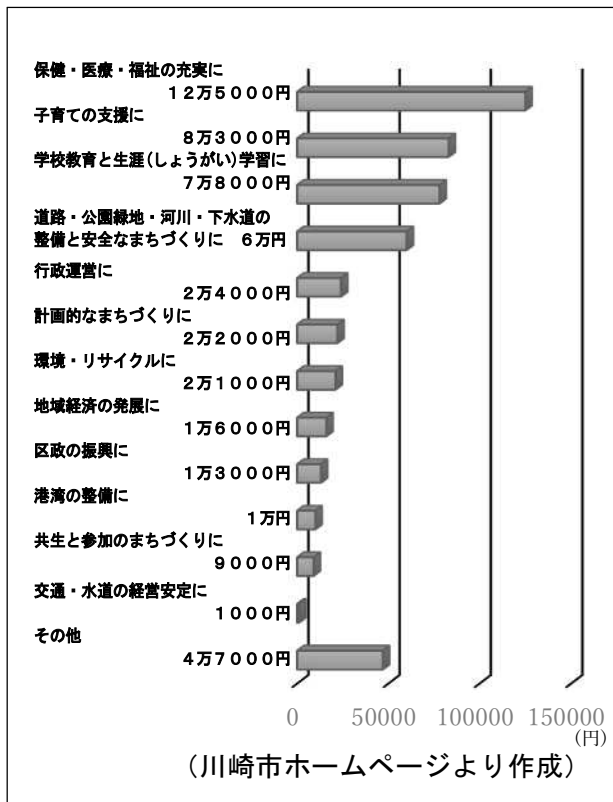
ウ 17300 円

エ 19300 円

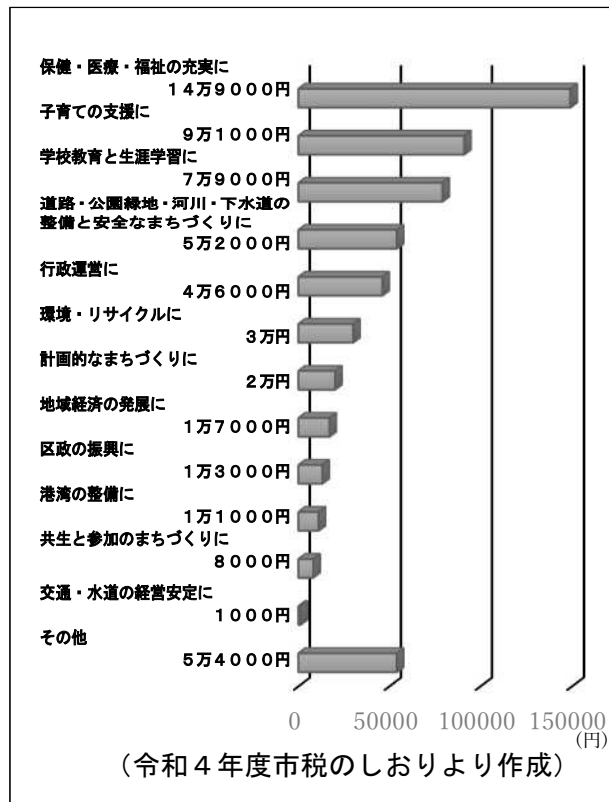
はなこさん：ところで、川崎市の人口は年々増えているし、ここ数年で社会の様子が大きく変化しています。それにもなって歳出はどのように変化しているのでしょうか。

たろうさん：川崎市の歳出のうち、私たちの暮らしに関わるものがどのように変化しているのか、分かりやすく示した〔資料6〕と〔資料7〕を見つけました。

〔資料6〕 令和2年度 市民1人あたりの
予算51万7000円の使いみち



〔資料7〕 令和4年度 市民1人あたりの
予算57万1000円の使いみち



けいこ先生：〔資料6〕と〔資料7〕を比較すると、令和2年度と比べて令和4年度は、ということがわかりますね。

はなこさん：なるほど。そのときの社会の様子を見て、特に必要だと思われるものに予算をかけているのですね。でも歳出のうち、社会の様子に合わせて使える予算はどれぐらいなのかな。

けいこ先生：それは〔資料3〕にもあった、③扶助費（市民生活を社会全体で支える経費）、人件費、公債費の3つからなる義務的経費によって決まります。歳出に対する義務的経費の割合によって、その他の自由に使える予算が決まるのですね。

たろうさん：どのように使われているのかが分かると、私たちの税金がとても大切だということが分かりました。これからも市の財政について関心をもって生活したいと思います。

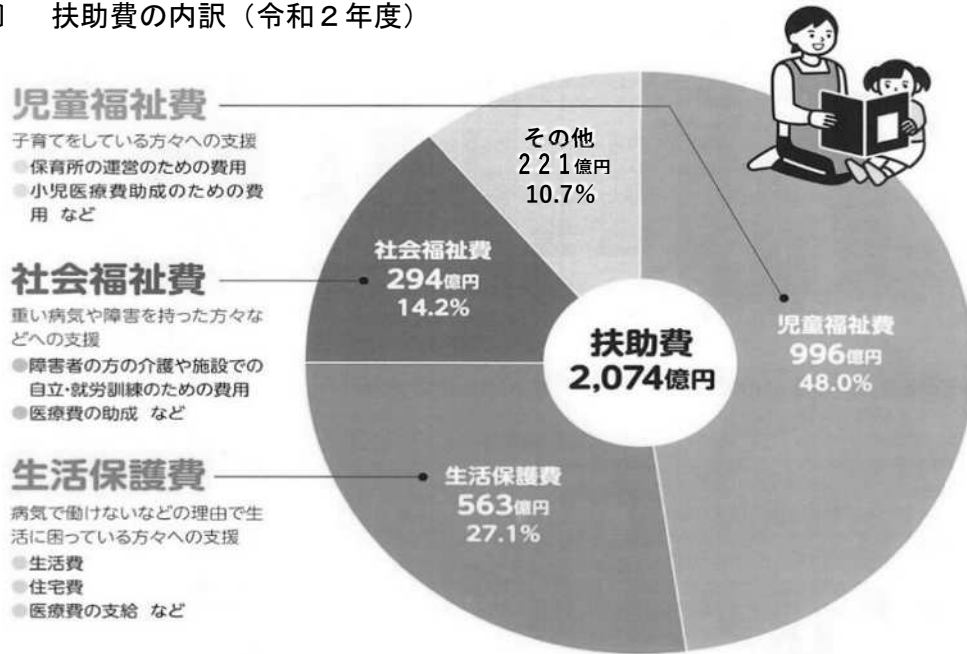
(6) にあてはまる内容としてふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えましょう。

- ア 「その他」以外の12項目のうち、4分の3以上の項目で予算が増額されている
- イ 「その他」以外の項目のうち、1万円以下の予算の項目数は変化していない
- ウ 「行政運営」への予算が最も多く増額されている
- エ 「保健・医療・福祉の充実」と「子育て支援」への予算の合計の、全体に占める割合が増加している

(7) 下線部③について、〔資料8〕と〔資料9〕から読み取れることとしてあてはまらないものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えましょう。

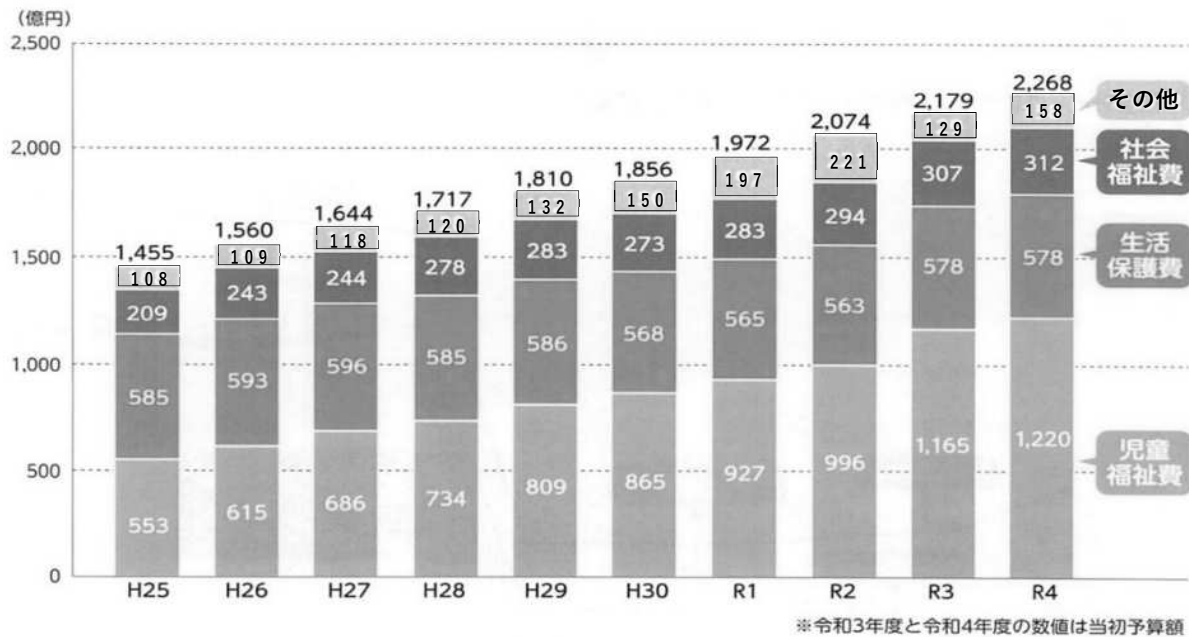
- ア 令和2年度においては、児童福祉費と生活保護費で扶助費全体の4分の3以上を占めている。
- イ 児童福祉費は、平成25年度から年々増加している。
- ウ 扶助費全体の金額は、平成25年度と令和4年度を比較すると1.5倍以上に増加している。
- エ 児童福祉費の扶助費全体に占める割合は平成25年度から令和4年度までの間、すべての年度で2分の1以下である。

〔資料8〕 扶助費の内訳（令和2年度）



(令和4年度川崎市財政読本より作成)

〔資料9〕 扶助費の推移



(令和4年度川崎市財政読本より作成)

受検番号

Three vertical dashed lines for entering the examination number.

氏名

Large empty rectangular box for entering the name.

Main grid of 40 columns and 20 rows for writing answers. A vertical line is drawn after the 26th column.

400 360 300 200 100 20

下のらんには記入しない

Three empty boxes for marking.

Three empty boxes for marking.

Three empty boxes for marking.

Large empty rectangular box for marking.

適性検査Ⅰ 解答用紙3

問題2

(1)

(2)

(3)

(4)

 (円)

(5)

(6)

(7)

下のらんには
記入しない

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

受検番号	氏名
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border-left: 1px dotted black; border-right: 1px dotted black; width: 30%;"></div> <div style="border-left: 1px dotted black; border-right: 1px dotted black; width: 30%;"></div> <div style="border-left: 1px dotted black; border-right: 1px dotted black; width: 30%;"></div> </div>	

合計